

社会福祉法人 平野の里

# 事業報告書

令和4年度

社会福祉法人 平野の里

2023/04/01



## 目次

振り返りと展望	3
事業所概要	4
各事業報告	5
生活介護・施設入所 障害者支援施設あやめ	5
共同生活援助 グループホームあやめ	5
埼玉北障害者生活支援センターひらの(相談支援事業)	6
埼玉北基幹相談支援センタートロンコ	11
生活介護 障害者支援施設あやめ寮	13
個別活動報告	14
りさいくるG	14
ふあくとりーG	15
がーでんG	15
すまいるG	16
くりーんG	16
虐待防止・権利擁護委員会(ハッピーハンド)	17
危機管理対策PJT【防災・防犯】	18
事故・ひやり委員会	20
医務食事委員会	23
医務看護部門	23
食事部門	24
衛生委員会	27
施設内余暇企画	28
利用者自治会	29
あやめ協力会	30
実習生・ボランティア	31
短期・日中一時	33
令和4年度日中一時 利用状況 人数 収入 事業報告 ※枠下()部分は去年度収入	33
保護者会	34
施設整備委員会	35
令和4年度 備品収支報告 ()は前年数値	36
地域貢献PJT	36
車輛	37
魅力発信 PJT	38
【法人ブランディング部門】	38

【会報部門】.....	38
ホームページ.....	39
職場研修.....	40
令和4年度 主な研修参加実績.....	40
採用活動.....	43
会社説明会実施後のアンケート結果(採用年度).....	46

## 令和4年度を振り返って

社会福祉法人平野の里

総合施設長 大澤 まさ江

地域施設長 柿沼 隆史

あやめ寮施設長 杉村 健

令和4年度はコロナ発症者を出さないことを職員一丸となって対策してきたにも関わらず、地域クラスター、本体クラスター、高齢の方1名がコロナ発症と持病のため他界されたという恐怖と悲しい年でした。何事も経験と慣れることは大切ですがコロナ発症対応はかなり職員にとって厳しい現状でした。ゆえに慣れたくない対応ですが、異例にも落ちついて対応することの大切さ、行政だよりでなく自力で切り抜ける力の大切さを知りました。現場力のすばらしさはお互い様で職員が責め合うことなく協力し助け合ったことです。コロナ発症時は各行政が厚労省の指示待ちで怒りを表した場面にも会いましたが、現場の大変さは上司が理解判断すべきと決心して平野の里なりに学び判断してきました。パート職員含め現場対応職員が自から考えて行動して利用者様のストレスを少なくするよう日々努力したことは自慢できます。

- ・利用者様は高齢化と共に高齢者施設の話し合いが始まりました。
- ・令和4年度の新職員は育成に答えて下さり全員1人立ちできました。
- ・新しい行事の在り方は毎月交代で職員が関わり今までにない行事ができました。最後に投票で理事長賞施設長賞他を実施しました。
- ・コロナについては残念でしたが命の大切さをより感じさせられ、今後の支援に活かしたいと思います。令和5年度もマスク対応を続けます。
- ・今後のコロナワクチン接種の在り方は行政の指示や医師と相談して進めます。
- ・相談支援ひらのはお客様が増え、職員同士が助け合い、相談所としてより向上しましたが、課題は予定よりニーズが増え建物狭く建築を計画しています。3月の理事会で決議されました。
- ・子ども笑顔食堂は弁当にはじまり弁当に終わりました。次年度はコロナ状況をみて食堂を開きたく思います。弁当の評判もよくあやめ畑の野菜、また他との共同で頂いたものを沢山お土産にでき喜ばれました。
- ・令和5年度は利用者様も職員もあやめ寮から外出することで気分転換し、コミュニケーション・職員のモチベーションも上がると思いますので3年間できなかった外出を徐々に進めたいと思います。

## 事業所概要

設置運営主体 社会福祉法人 平野の里

### 事業種別及び定員

- ① 障害者支援施設 あやめ寮
- |           |                |
|-----------|----------------|
| 開所年月日     | 昭和63年3月1日      |
| 主なサービスと定員 | 入所支援 定員50名     |
|           | 生活介護 定員75名     |
|           | 短期入所 定員2名(併設型) |
|           | 日中一時支援         |
- ②グループホームあやめ
- GH あやめ：定員4名
  - あやめ壺番館：定員10名
  - あやめ式番館：定員10名
  - 幸手宿：定員3名
- ③障害者生活支援センター ひらの

私共、社会福祉法人平野の里は、平成30年3月30日付で、「シニア活躍推進宣言企業」に次いで「多様な働き方実践企業」に認定されました。埼玉県が実施している、女性の力で埼玉経済を元気にする「ウーマノミクス プロジェクト」の取組みの一つに「多様な働き方実践企業」認定制度があります。短時間勤務やフレックスタイムなど多様な働き方を実践している企業を埼玉県が認定するものです。

当法人は、職員個々のニーズに即した働き方を進めながらイキイキと働ける職場でありたいと思っておりますが、今回令和5年3月30日付で認定更新において「ゴールド」から「プラチナ認定」へとランクアップされました。(すべて該当＝プラチナ、4つ以上該当＝ゴールド、2つ以上該当＝シルバー) また、シニアの活躍推進宣言企業においてもランクアップの「プラス」がつき、さらにシニアの活躍の内情も認められる形となっております。着実に多様な働き方実践企業の質が向上している中、女性にとっても男性にとっても、シニアにとっても働きやすい環境づくりを促進し、法人の発展を目指してまいります。また、女性の活躍推進・ハラスメント対策など労働施策にアンテナを張り、事業規模にとらわれずに取組推進を図り、より良い職場づくりに邁進してまいります。



## 各事業報告

### 生活介護・施設入所 障害者支援施設あやめ

●定員 50 名

障害者支援施設あやめ寮利用者障害支援区分分布								
区分	6	5	4	3	2	1	重度	計
男性	16 名	12 名	3 名				18 名	31 名
女性	14 名	2 名	2 名				13 名	18 名
SS								
合計	29 名	15 名	6 名				28 名	50 名

※生活介護通所利用者 23 名 (2023 年 4 月 1 日現在)

平均年齢 50.7 歳 平均支援区分 5.43 (2023 年 4 月 1 日現在)

### 共同生活援助 グループホームあやめ

●定員 27 名

グループホーム事業利用者障害支援区分分布								
区分	6	5	4	3	2	1	無	計
GH あやめ			1 名	1 名			2 名	4 名
壱番館	2 名	6 名	1 名					9 名
弐番館	3 名	5 名	2 名					10 名
幸手宿		1 名	1 名	1 名				3 名
4 ホーム計	5 名	12 名	4 名	2 名			2 名	26 名

平均年齢 55.0 歳 平均支援区分 4.03 (2023 年 4 月 1 日現在)

#### 主な活動

平日は壱番館（壱番館利用者・幸手宿利用者）・弐番館（弐番館・GH あやめ利用者）にて生活介護として、作業、畑、運動、散歩などを行う。季節に応じた余暇活動なども実施。

担当余暇については、代行にて食事と買い物を行う。

散髪は感染者の同行を見つつ、美容室にでかけて実施。

お中元、お歳暮は関係する箇所にご挨拶をかねて配布。

避難訓練も実施し、ホームによってではあるが水害時の避難経路を通っての移動も実施。

#### 課題

限られた職員数の中で4つのホームをカバーしなければならず、建物としてかなり年数の立っているGHあやめの今後の場所の検討が必要であり、前述の部分も含め拠点をまとめていく必要性が感じられる。

食材費の高騰により、提供する食事についての検討が必要。

加齢や病気などに伴う利用者の今後の生活の場の検討が必要。

## 埼玉北障害者生活支援センターひらの（相談支援事業）

### §はじめに

相談支援の業務は（1）指定特定相談支援事業（2）一般相談支援事業（3）埼玉北圏域（3市2町＝幸手市・蓮田市・白岡市・宮代町・杉戸町）にかかる相談支援事業業務（委託業務）に従事している。

コロナ感染の影響が収束に向かう傾向にはあるものの、相談支援に従事する相談員は外部との接触の機会が多様にある。基本的、予防の徹底しながら業務に行ってきた。最小限にとどめられる状態で業務に大きな影響をきたさず、こられたことは幸いである。

### 【振り返り・評価（所感）】

#### （1）指定特定相談支援事業

ケース（者）において、所謂、8050問題を始め、経済的要素のまつわりのあるケース等々、また、ケース（児）においては、要対協や児相の絡む事案ケース、養護者の認知機能に課題のあるケース、ヤングケアラー等々、共に本人を含めた世帯支援に及ぶケースが増えてきている傾向にある。障害者総合支援法（介護給付、訓練給付、自立支援医療、地域生活支援事業）の範囲だけではその課題解決に及ばないケースもある。

令和4年度の給付については、別紙①参照

（2）（3）埼玉北地区相談支援事業業務（3市2町と当法人が、地域生活支援事業に係る広域実施に関する協定書に規定する契約を締結）の契約締結をして、5年目を迎えた。委託費の見直しがなされ、1千万円の大台で更新されることとなった。

これも、委託相談事業所として、埼玉北地域自立支援協議会での役割・責務を日々、果たしてきていることや相談支援業務をはじめ真摯に取り組んできた実績と信頼が評価されたものと思われる。今後も行政からも「ひらの」が関わることにより、信頼を高められるように取り組んでいくことを自覚する。

困難ケースの依頼が年々増加している傾向にある。原則、新規の依頼においては断らない姿勢を一貫してきている。正直、対応に苦慮するところも抱えている。そのような状態に、法人の理解があり、常勤専属の相談員が1人増員され、管理者を含め6人体制で厚みを持つ現状にある。

また、基幹相談支援センターへの参画が2年目となり、引き続き法人から1名の出向となり、多様な関わり範囲の拡大と共に職務と責務の重さを実感しているところである。

市町村ごとの支援容共については、別紙②参照。

※注釈：基幹相談支援センター＝幸手市を含む広域における障害福祉サービス等や地域課題について行政と連携を図り、自立支援協議会を運営する中核的存在である。

#### （4）事業所力の向上

一人一人の相談員の魅力を引出し、結集させられれば一段と向上することと思われる。関わる対象者・支援困難ケースの相談（①福祉サービスにつながりにくい②キーパーソンがない③経済的困窮世帯④本人の支援拒否⑤世帯支援（保護者の養育力の低さや

保護者も障がいがある等))が求められる事例も増えてきている現状にある。それらの事例に対応していけるよう、相談支援事業所としての資質向上を図っていく必要があり、担当職員が抱え込むことのないように、定期的な事例検討会を始め、支援の困難事例の場合等、適宜、事例検討会を行う。事業所内でケースに関心を持ち共有して、チームワークを注力していく。

#### §おわりに

コロナ渦で制限のある情勢が続くが、引き続き感染予防の対策においても出来ることを徹底していくことで業務に支障をきたさないようにしていくことが求められる。

#### ○一般相談支援事業（委託相談事業）

1. 福祉に関する相談 2. 地域相談支援（①地域移行支援 ②地域定着支援） 3. 埼葛北地区地域自立支援協議会との協同・連携等。

埼葛北地域自立支援協議会に関する業務（生活支援部会の企画立案・運営を含む）各種会議、各種部会に参加すると共に計画の立案などを行う。

#### ○指定特定相談支援事業

1. サービス等利用計画の作成（障害者、障害児）

（1）既存のサービス等利用計画 （2）新規

2. 継続サービス利用（モニタリング）の実施

（1）既存（2）新規

3. 社会資源を活用するための支援

4. 権利擁護のための必要な支援

5. 福祉サービスの利用援助

#### 【法人地域貢献事業】

・生活困窮者相談支援事業（彩の国あんしんセーフティネット）

・子ども食堂の運営（あやめ笑顔食堂） ※地域の福祉課題に取り組むことを含む



※別途参照（利用支援提供件数一覧表）

相談支援実施内容（ピアカウンセラーによる支援は（ ）書きで再掲する）2021/4/1-2022/3/31							
支 援（相 談） 内 容	蓮田 市	幸手 市	白岡 市	宮代 町	杉戸 町	以外 市町	合 計
福祉サービス等の利用等に関する支援	26	1446	1	67	519	20	2079
障害や病状の理解に関する支援	15	801	0	50	364	8	1238
健康・医療に関する支援	8	803	1	56	289	2	1159
不安の解消・情緒安定に関する支援	13	998	0	43	395	10	1459
保育・教育に関する支援	0	74	1	0	43	5	123
家族関係・人間関係に関する支援	11	996	0	33	288	7	1335
家計・経済に関する支援	3	318	0	31	93	0	445
生活技術に関する支援	5	489	0	29	198	2	723
就労に関する相談	0	159	1	4	156	7	327
社会参加・余暇活動に関する支援	2	45	0	4	27	0	78
権利擁護に関する支援	2	139	0	0	78	5	224





## 埼玉北基幹相談支援センタートロンコ

### 【活動方針】

- 1) 障害者が地域の中で安心して暮らしていけるよう相談支援事業所や関係機関と連携しながら、地域の相談支援体制を整備する。
- 2) 相談支援事業者の人材育成や専門的相談に応じるなど相談支援の中核的役割を担っていく。

### 【令和4年度の取り組み】

- 1) 地域の相談支援体制の強化
  - ・災害時支援プロジェクト→マイタイムラインの活用を検討。
  - ・各市町の社会資源調査を定例実施とし、地域アセスメントの材料とした。
  - ・指定特定相談支援事業所連絡会→計画相談書式の見直し。
- 2) 地域の相談支援従事者の人材育成・人材確保
  - ・人材育成プロジェクト・指定特定相談支援事業所連絡会にて取り組む。
  - ・職員全員が法定研修演習講師等を担い、S V技術の向上及び相談支援専門員との関係づくり。
- 3) 自立支援協議会の活性化
  - ・トロンコ・オリーバ職員も各部会等を担当制とし、各部会等の進捗管理を丁寧に行う。
  - ・基幹相談支援センター連絡会や埼玉県相談支援専門員協会の事業に参画し、先進地域の取組等の情報を地域に反映する。
- 4) 専門的相談支援体制の強化
  - ・療育相談支援体制の確立・地域移行・地域定着支援の促進・医療的ケア児者を考える医療・福祉等連携会議の充実

### 【取り組みの成果】

- 1) 災害時支援プロジェクトでは、障害福祉施設職員向けの研修会を行うことで、障害者・家族の自主防災の必要性を共有し、各事業所における「マイタイムライン」の活用等の理解が深まった。
- 2) 人材確保のための研修会を開催し、サービス事業所職員に相談支援専門員の魅力を伝えた。
- 3) 法定研修演習講やインターバルの受入れを積極的に行い、職員のS V力の向上を図った。G S V事例提出者との事前打合せ・振り返りを丁寧に行うことでS V機能が充実した。
- 4) 事例検討等で抽出された地域課題のひとつ「ひきこもる障害者の支援」について年2回の研修を実施し、理解を深めることができた。

### 【次年度以降の課題】

- 1) 引き続き、人材育成と並行して人材確保の取組について検討。新規事業所立ち上げや各相談支援事業所の相談支援専門員増員についての検討。

- 2) 新規事業所の後方支援及び指定特定相談支援事業所における基本相談の強化。
- 3) 専門的相談支援体制の強化。特に障害児相談支援体制の見直しが必要。基幹相談支援センターと児童発達支援センターとの連携体制の構築。
- 4) 各部会での解決が困難な地域課題については、運営会議等を活用して検討する体制づくり。

## 生活介護 障害者支援施設あやめ寮

●定員 75 名 ●利用人数：75 名

●作業時間 月・水・金曜日 9：30～11：15・13：15～14：30 計 3 時間の作業活動

※新型コロナウイルス感染予防対策(分散食事や換気等)のため、作業時間短縮を継続。

※火・木曜日については、音楽活動や余暇的活動

●作業場所 ブラウン棟・レッド棟・グリーン棟・寮内・野外活動等

※新型コロナウイルス感染予防対策によりグループホーム壺番館・式番館を活動場所として実施。

●作業活動収支 ※ ( ) は前年度数値

	年度支出合計	年度収入合計	年度収支実績
ふあくとりーG	¥8,821 (¥26,071)	¥136,324 (¥187,678)	¥127,503 (¥161,607)
がーでんG	¥8,318 (¥0)	¥21,235 (¥43,291)	¥12,917 (¥51,272)
りさいくるG	¥5,686 (¥40,451)	¥505,004 (¥428,709)	¥499,318 (¥388,258)
くりーんG	¥5,000 (¥6,672)	¥0 (¥0)	¥-5000 (¥-5,000)
すまいるG	¥7,561 (¥58,160)	¥0 (¥0)	¥-7,561 (¥-58,160)
年度合計	<b>¥35,386</b> (¥131,354)	<b>¥662,563</b> (¥659,678)	<b>¥627,177</b> (¥528,324)

## 今年度の取り組みと今後の展望

令和4年度も令和3年度同様、新型コロナウイルス感染予防対策により、活動場所としてグループホーム壺番館・式番館も使用し活動を実施しております。分散での活動を継続することにより新型コロナへの感染リスクも減り、地域グループホームで感染者が出た際や、本体で感染者が出た際も最低限の範囲で抑えることができ一定の対策効果に繋がりました。ただ新型コロナウイルスが全国、地域拡大の影響は大きく、影響を受けた職員が欠勤となることで作業に取り組めない日が多くなったことも事実であり、利用者様の生活リズムが整わず、利用者様の情緒面にも影響が出てしまうことがありました。ただ、その中でも生活介護の取り組みとして作業だけにとらわれず、余暇活動も積極的に行い、利用者様が出来るだけ「活動」として行える工夫をして「何もしない」という時間を出来るだけ作らないように配慮して取り組むことが出来ました。

今後の展望として、現在は活動場所を分散して取り組んでいますが、今後活動場所を本体に戻した場合の職員体制の見直し、感染対策期間で利用者様の状態も変化し、新たに活動班や活動内容の見直し、ご利用者様の状態にあった活動班への配置も早急に必要になっ

てきます。さらに、利用者様も高齢化していく中で「作業」にどれだけ取り組めるか、また出来るだけ長く取り組めるようにどう配慮していくかといった点が課題となってきます。そういった課題に対して一つ一つクリアして利用者様にとって安心して活動に取り組める環境を確保していくことを目標に取り組んでいきます。

壺番館活動内容：ラジオ体操・もも・つま先・かかと上げ、手遊び・ダンスDVD・ぬり絵等

式番館活動内容：ラジオ体操・塗り絵・畑作業・缶作業・館内清掃・筋トレ

## 個別活動報告

### りさいくるG

#### 【活動内容】

- ・回収物選別・アルミ缶潰し（足）・プルトップ取り・ペットボトルキャップ外し・リサイクル品納品・ロードサポート・缶回収・散歩
- ・活動体系
- ・AM・PM：ぶらうん棟内・周辺にて缶潰し・缶の選別・ペットボトルキャップ
- ・ラベル取り・缶回収・ロードサポート

#### 【活動実績】

- ・ぶらうん棟にて機械を使い足で操作し潰し作業を行っている。
- ・缶置き場のハウスより袋に入った缶を作業棟へ移動。その後スチール・アルミ・ペットボトル・他に仕分けを行う。
- ・ペットボトルに関してはキャップを取り、ボトルをカバーしているビニールを剥がす作業を行う。
- ・缶回収は火曜、木曜日に数か所回り回収を行う。第1・第3金曜日は指定ヶ所の箱回収を行っている。
- ・夏季作業の際に、熱中症になりやすい方などは配置変更や適時水分補給などを行うことで、体調を崩す利用者さんはいなかった。

#### 【課題】

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、クラスター発生による作業活動中止や、職員の欠勤による作業配置により作業中止となることがあり、十分な管潰し作業時間が確保できず、缶がハウスいっぱいになってしまうことがあった。普段の日課の中で出来るだけ缶潰し作業に職員を振って対応することで改善出来た。

## ふあくとりーG

【活動内容】 差し込み・もぎり・ウエス・コネクトプランニング、アイテック

### 【活動実績】

- ・定期的な納品や業者とのやり取りで円滑に作業を進めることが出来たが、職員体制の関係で作業出来ない日もあり、職員が作業量を調整しながら進めている。
- ・ウエス作業はハサミを使用するため特定の利用者様が取り組んでいる。安定して仕事が入っている為今後も継続していく。
- ・作業リーダーがもぎりの進み具合を把握し、事前に日課表調整で納品を組むことで、作業が途切れることなく提供することが出来た。
- ・作業棟への移動が困難な一部の利用者様については本棟の部屋を活用して作業に取り組んでいただいたことで、落ち着いて作業に取り組むことが出来ていた。

### 【課題】

- ・作業が提供出来ない状況でも余暇的な要素を取り入れた作業で、紙ちぎりから貼り絵、カレンダー作りや飾り絵等の作成に力を入れることで、作業が無いことでの混乱を防ぐと同時に、利用者さんの楽しみにも繋がっており今後も状況に応じて取り組めるようにして準備しておく必要がある。

## がーでんG

【活動内容】 農福連携活動及び、専門的な知識のある職員が畑作業を率先し実施。

土運び 野菜の水やり ハウス内の水やり 畑の草取り 野菜の苗を畑に植える。野菜の種をポットに植える。買い出し（肥料や道具を購入する。） 雨の日は花の本を見る。花の栽培 野菜や花の消毒 野菜の収穫季節収穫（青梗菜・小松菜・ねぎ・たまねぎ・きゅうりなど）土寄せ

### 【活動実績】

がーでんGのメンバーでは、なかなか集中して取り組めない方がいるのでご利用者個人の能力や適正を見極め、得意の分野で取り組んでもらい一人一人が活躍できるようにしております。無理をしないで一人一人の利用者様にあった作業内容になっております。野菜や花を育てる機会だけでなく、塗り絵や散歩、作業棟の清掃といった活動も積極的に取り入れ、持続して活動に参加出来るよう工夫しています。

主に野菜はあやめ寮の厨房（ハーベスト）に納品しています。農福専門で活動されている職員との連携で、主に収穫のサポートを行っています。作業メンバーは納品した野菜が食事に出ることで喜びを感じて過ごされています。

### 【課題】

- ・活動班の中に作業に取り組めない利用者様もいて、他に状態の落ち着かない利用者様がいた時に気分転換を図る散歩などが取り組めないことがある。職員配置のバランスや急な活動内容の検討などの判断も必要になっている。



## すまいるG

### 【主な活動内容】

- リハビリ及び利用者さんの健康増進・趣味的活動を通じての情緒の安定を目的に各個人にあったプログラムを作成し、活動に取り組んできました。
- 活動時間：平日の午前中（9:30～11:30） 午後（13:15～14:30）
- 活動内容 全体活動…歌謡曲を利用したリズム体操、ストレッチ運動、日光浴、ウォーキング、音楽鑑賞、ボール遊び、制作活動  
個別活動…平行棒、歩行器、腹筋その他の筋力トレーニング、足湯

### 【活動実績】

- 所属利用者様の健康増進および情緒面の安定を主な目的として、体操やストレッチ・ウォーキングなど身体を動かす活動。
- 作業班全体そして個人でも季節に合わせた制作活動を行い、完成した作品は作業場所へ掲示し、利用者さんの達成感へ繋がるようにした。1つの作品を皆で作ることで、作業班の一体感も強まった。

### 【課題】

- 所属利用者様の障害特性により活動に前向きになれない方への活動の提供方法の工夫。
- 活動内容を、季節に応じて新たな取り組みをしていきたい。

## くりーんG

### 【主な活動内容】

- 活動時間：平日の午前中（9:30～11:30） 午後（13:15～14:30）
- AMは本棟の清掃活動、洗濯物仕分けを実施。PMは本棟の清掃活動、利用者さんの着替えまたは入浴準備、脱衣場準備、体操を実施。職員体制に余裕がある場合には重点的に支援が必要な利用者さんへのフォローやマンツーマン対応を行い、各々のスキルアップに取り組んでいる。
- 午前 流し掃除、お茶準備、ゴミ集め、ゴミ捨て、食堂椅子拭き、男女アカスリ仕分け、男女利用者さん洗濯物仕分け、シーツ・マット類畳み、洗濯物運び、ネットの洗濯物畳み、タオル畳み、リハビリで使用するボール拭き  
筋力トレーニング（平行棒にて足上げ等）
- 午後 廊下・居室・食堂のモップ掛け、手すり拭き、レール掃除、男女利用者さん着替えまたは入浴準備、脱衣場準備、お茶の準備、体操、日光浴

- 【活動実績】 ・リネン室の整理、備品の確認(必要に応じて備品係と連携)。  
・棟内清掃とともに利用者さんの衣類確認及び修繕。

- 【課題】 ・要把握者の利用者様への対応。利用者さんの身体的変化への早めの対応。(体の傾きによる転倒、他者の私物を盗んでしまう方の所在把握)
- ・自身の役割分担が早めに終了した利用者様への対応・作業提供。
  - ・作業時の排泄面の支援、声掛けのタイミング。

## 虐待防止・権利擁護委員会（ハッピーハンド）

### 1、虐待防止・権利擁護委員会会議

隔月虐待防止・権利擁護について、委員会にて虐待防止に関する内容についての協議及び、直近の虐待案件等々共有を図りつつ、職員へ虐待防止・権利擁護等々についての周知浸透を図った。

### 2、虐待防止・権利擁護指針の策定

毎月策定することにより、月ごとの目標を職員がそれぞれ意識し、虐待の抑止と権利擁護に関する意識を高めることが出来た。

### 3、接遇目標の策定

3ヶ月ごとに策定することにより、目標を職員それぞれが意識し、虐待の抑止と権利擁護に関する意識を高めることが出来た。

### 4、職員へのセルフチェックリスト配布による、振り返りチェックの実施

定期的にセルフチェックリストを職員に配布し、振り返りをしっかり行い、ご利用者の人権や権利擁護を守ることを主とし、支援において安心と安全を提供するように努めた。

### 5、Special Learning のコンテンツの活用・視聴

虐待防止・権利擁護に関し、コロナ禍の状況で、対面式での研修会等開催が出来なかった為、Special Learning の虐待防止・権利擁護のコンテンツ視聴を職員に周知することにより、虐待防止や権利擁護に対する意識が法人全体に浸透していくように努めた。

#### 【主な取り組み】

- 令和4年度埼玉県障害者虐待防止・権利擁護研修の共通講義を動画配信視聴
- speciallearning 施設内研修計画にて虐待防止権利擁護関連の動画視聴期間を設定
- 委員会開催（基本隔月5回実施※コロナ状況により未実施の月もあり。）
- セルフチェック配布・集計（2～3ヶ月毎）
- 苦情・相談ポスト設置・集計。
- 接遇目標/虐待防止指針更新（3ヶ月毎/毎月）
- 法人内虐待防止研修の開催。

#### 接遇目標

4～6月：より良い衛生環境を整えましょう。

7～9月：より良い衛生環境を整えましょう。

10～12月：困った時は相談しましょう。

1～3月：統一した支援をしましょう。

#### 課題

- セルフチェックリストに自由記述・支援に困っていることなどの欄を設けるなど、内容の見直し。
- 法人全体の言葉遣い（呼称や丁寧語）の改善。
- 対面式の事例検討会や施設内研修の実施に向けた準備。

## 危機管理対策PJT【防災・防犯】

### 【主な取り組み】

- ・防災計画の策定
- ・年間計画に基づく防災活動
- ・自衛消防活動（避難消化訓練）の実施・検証
- ・消防署関係機関との調整共有
- ・緊急連絡先策定
- ・非常用備蓄の確認
- ・点検及び非常持ち出し袋の点検
- ・BCP事業継続計画の策定見直し
- ・水害、積雪対策等、施設で想定される災害について対応検討
- ・幸手市防災安全課との情報共有や福祉避難所についての検討
- ・リーダー会議を利用し、役職者への防災関係の情報共有

### 【防災・防犯訓練】

日時	内容	備考
4月4日（月） 14：00～16：00	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ハザードマップ、避難レベル等の資料を使った新人職員中心に施設内研修。</li> <li>●図上訓練</li> <li>●避難経路（建物内、避難先までのルート）の確認訓練 本棟からアスカル幸手まで公用車を使用し移動。 走行時間は片道約5分。 到着後、建物内へ移動。 建物内にてアスカル幸手内の図上確認実施。避難先建物の出入口、トイレ、二階への避難誘導経路、エレベーター箇所、約50名過ごせる部屋等の確認。</li> </ul>	
7月7日（木） 10：30～11：30	<p><b>【本棟】</b> リネン室より出火想定開始。非常ベルが鳴った後に一階事務室に職員が集合。男性夜勤者役より、現場にいる職員へ初期消火対応の指示がある。女性夜勤者で初期消火に当たる。初期消火失敗の後、男性夜勤者にて非常通報装置の逆探知の連絡対応や施設内放送、避難誘導に移る。居室等を順次確認し、作業棟外への移動後、点呼実施。点呼終了後、消防隊がいる想定で避難状況の疑似報告を行い、訓練終了。</p> <p><b>【新棟】</b> 洗濯場（ガス乾燥機）より出火想定で開始。非常ベルが鳴った後に、「火事だー」と大きな声で利用者さんに伝え、</p>	消防署立ち合い

	<p>初期消火を行う。初期消火失敗後非常通報装置の逆探知の電話に対応。落ち着いて聞かれた内容に返答する。状況報告等やり取りを終えてから、誘導に当たる。避難時も大きな声で非難を伝えながら誘導。避難後、点呼実施。点呼終了後、防火管理者へ避難状況の報告を行い、訓練終了。</p>	
12月27日	<p><b>【本棟】</b>          厨房室より出火想定開始。非常ベルが鳴った後に一階事務室に職員が集合。日直者より、現場にいる職員へ初期消火対応の指示がある。男性職員で初期消火に当たる。初期消火失敗の後、日直者にて非常通報装置の逆探知の連絡対応や施設内放送、避難誘導に移る。現場把握職員は女性職員はA棟、男性職員はB棟を中心に居室等を順次確認し、駐車場への移動後点呼実施。点呼終了後、消防隊がいる想定で避難状況の疑似報告を行い、訓練終了。          訓練終了後に水消火器を使用して消火訓練実施。</p> <p><b>【新棟】</b>          洗濯場（ガス乾燥機）より出火想定で開始。非常ベルが鳴った後に、「火事だー」と大きな声で利用者さんに伝え、初期消火を行う。初期消火失敗後非常通報装置の逆探知の電話に対応。落ち着いて聞かれた内容に返答する。状況報告等やり取りを終えてから、誘導に当たる。避難時も大きな声で非難を伝えながら誘導。避難後、点呼実施。点呼終了後、防火管理者へ避難状況の報告を行い、訓練終了。</p>	消防署立ち合いなし
1月25日	<p>不審者が玄関付近で徘徊し、インターホンを鳴らす。玄関を開けると急にナイフを持って大声をあげて襲い掛かる。対応に入った男性職員2名で落ち着くように声を掛けるが不審者の興奮が収まらないため、職員が大きな声を出して施設内全員に不審者がいることを知らせる。その際に1人の職員が催涙スプレーを持ってきて、男性3名で抑えている際に催涙スプレーをかける。男性職員3人で抑えている際に女性職員にて110番へ通報。スマホのラインワークスにて全職員へ連絡を入れる。警察が来るまで男性職員で抑え込む。警察が来て情報を伝える。</p>	

**【課題】**

- 利用者さんのADL低下に合わせた避難誘導マニュアルの見直し
- 非常備蓄品の検討●災害対策用品の充足●避難訓練の内容の検討●災害時の電源、連絡手段等の確保●新型コロナ感染防止の中で利用者様の避難時における感染防止の取り組み

## 事故・ひやり委員会

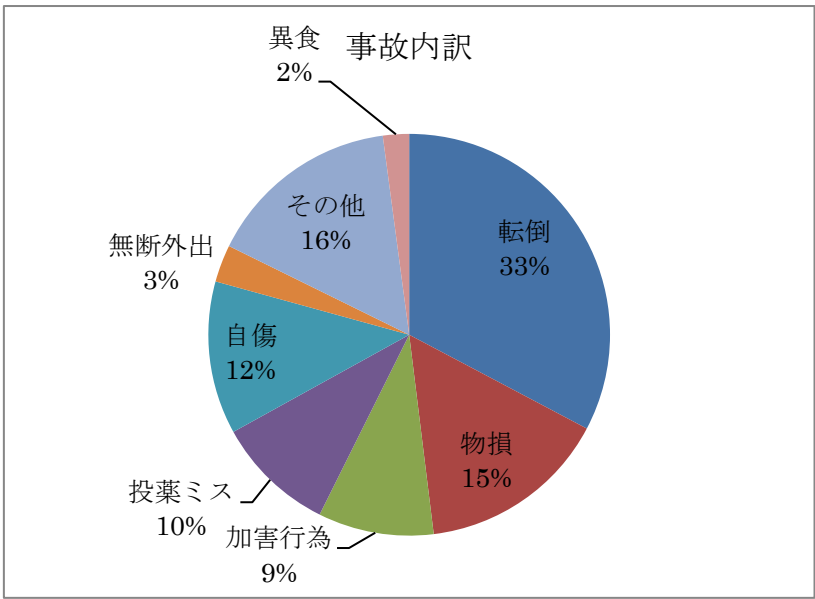
### 【年間の取り組み・変更点】

- ・年間役割分担表を作成（4月）
- ・改善点、他委員会に繋がる内容を議題としてあげた。
- ・施設管理者や委員会メンバーから事故報告やひやりはっと にコメントをし、注意喚起や助言を行い、再発防止を促した。

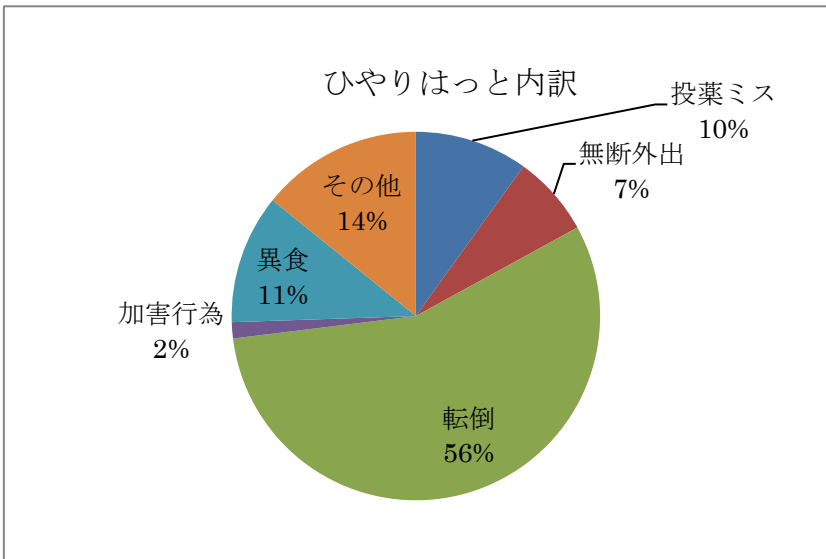
### 【重大な事故】 【詳細】

- ・4/4 公用車アルトが走行中に異音。ネジの緩みにより、そのまま走行していれば、大事故に至っていた。
- ・4/15 Yさん、夜間転倒し、たんこぶが出来てしまう。ご高齢のため今後も歩行に注意が必要。
- ・4/21 Eさん、左目に青あざがあり、居室内のスイッチに取り付けられていた金属ケースを撤去。また居室環境の見直しを行う。
- ・6/1 Kさん、入浴後、脱衣場マットに躓き転倒。
- ・6/16 Kさん、首にかけていたタオルが絡まり、首に赤み。
- 6/23 Kさん開いているドア出て行ってしまった。
- 7/15 Cさん爪いじりがひどいため、私物を倉庫に移動。
- 7/17 すいせんのエアコンのネジが外れ、落下し掛けていた。
- 8/9 公用車セレナのクラクション故障。
- 9/2 Yさん、女性職員の首を絞める。女性に対して強く出ることがある。
- 10/17 Tさん、カビの生えたパン・饅頭がゴミ箱から発見。
- 11/18 Yさん、職員、公用車走行中、追突事故発生。怪我なし。
- 11/27 Sさん自室ドア窓を壊す。
- 11/27 Kさん経年劣化によるリクライニングベッドの線が脱線。絶縁テープを巻く。
- 12/14 Kさん盗食あり、Sさんの座席変更している。
- 1/7 Nさん、居室ドアを破損。
- 2/1 Tさん、コロナ隔離中、大暴れし、物損や職員への暴力を繰り返していたため、職員2名体制で手を抑える。
- 2月末頃よりYさんが自室にて仰向けで倒れている事故が多発していた。そのため、把握の徹底、自室の環境整備、ヘッドギアの購入を実施。

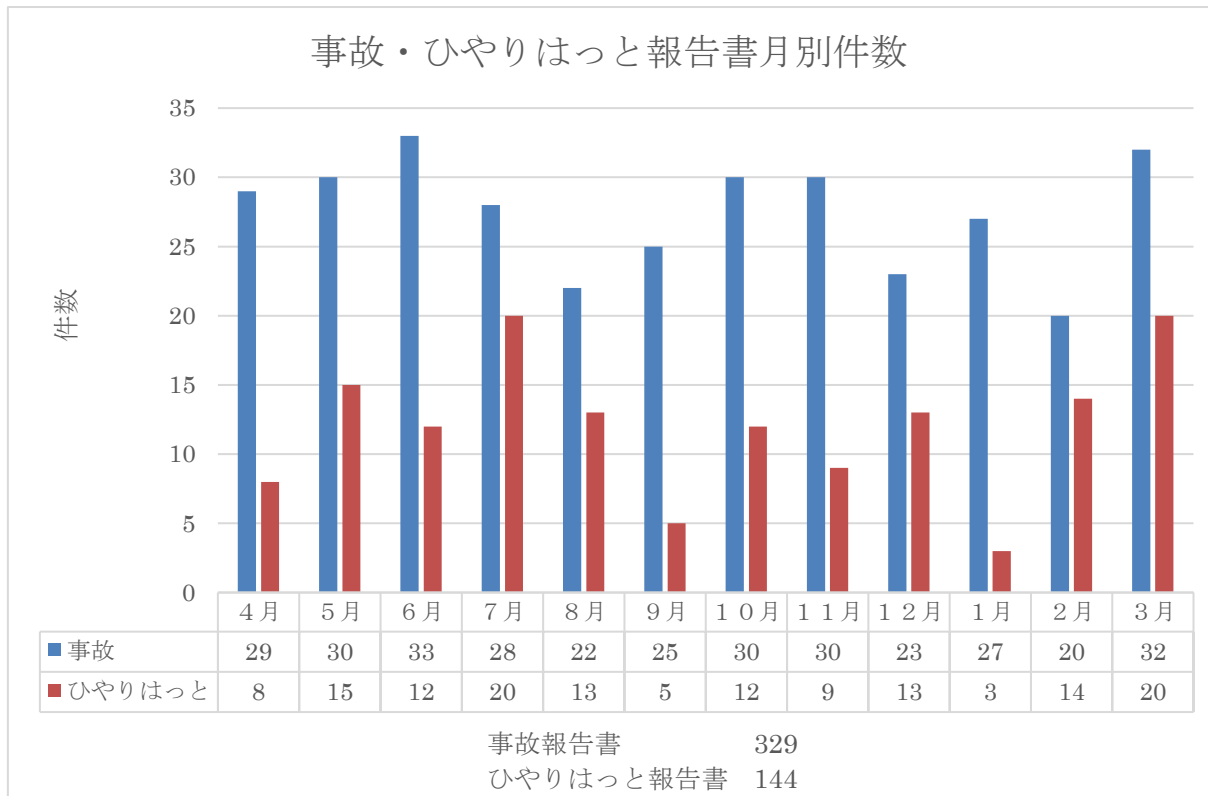
事故報告書	
転倒	109



物損	51
加害行為	31
投薬ミス	32
自傷	41
無断外出	10
その他	52
異食	7



投薬ミス	14
無断外出	10
転倒	79
加害行為	2
異食	16
その他	20



**【数値で見る傾向】**

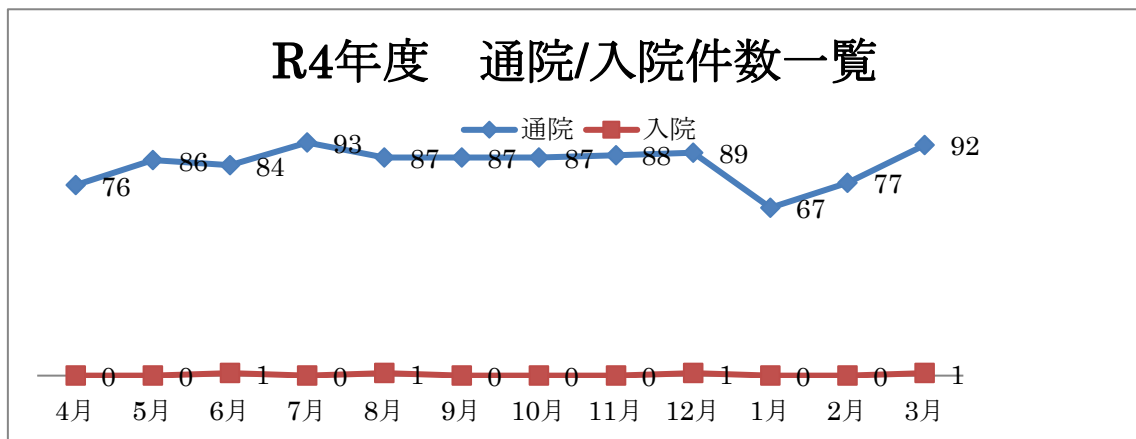
昨年合計 242 件、一昨年合計 196 件に対し今年度は 329 件。全体的な件数をみると事故報告の数は増加傾向。内訳をみると、昨年度に続き転倒が今年度も多く見られた。ただ、ICT 化推進に伴い、報告件数が確実に上昇しており、記録へ繋げる意識が醸成してきている成果とも捉えられる。

医務食事委員会

医務看護部門

《実績活動》・会議の運営、会議内容の周知 ・マニュアルの見直し ・各医師へ、利用者の報告書の確認 ・健康診断準備と運営。 ・既往歴の更新 ・歯科健診 ・インフルエンザ予防接種準備と運営 ・コロナウイルス予防接種準備と運営 ・感染症予防対策・対応。

《活動分析》・新型コロナ感染者発生により、緊急事態宣言等もあり、通院は可能な限り職員代理受診にて実施。 ・4月健康診断は全職員及び全入所利用者、GH女性利用者対象、10月健康診断はコロナウイルスクラスターの発生により延期。3月に夜勤対応職員及び全入所利用者、GH男性利用者対象で、分散にて実施。 ・歯科健診は昨年同様に分散にて実施。 ・4回目・5回目のコロナウイルス予防接種を実施。接種後、重篤な副反応を示す方はいなかった。 ・本体・壺番館・幸手宿にて職員を含むコロナウイルスクラスターが発生。職員・利用者共に重篤な後遺症なし。



	通院	入院		通院	入院
4月	76 (71)	0	10月	87 (74)	0
5月	86 (83)	0	11月	88 (83)	0
6月	84 (77)	1	12月	89 (86)	1
7月	93 (88)	0	1月	67 (99)	0
8月	87 (71)	1	2月	77 (86)	0
9月	87 (96)	0	3月	92 (99)	1
			合計	1013	5



令和4年度入院状況

入院者名	病院名	疾病内容	入院者名	病院名	疾病内容
Aさん	東埼玉総合病院	間質性肺炎	Dさん	秋谷病院	大腸がんの疑いのため検査入院
Bさん	秋谷病院	蜂窩織炎			
Cさん	秋谷病院	急性左腎盂腎炎			

**食事部門**

《実績活動》

- ・食事会議の運営
- ・会議内で、各利用者の体重・栄養状態・摂取状況などの確認
- ・会議内で、誕生日食、行事食などの確認
- ・会議内で、検食簿の確認
- ・検食簿の一覧作成と確認
- ・食堂の掲示物作成
- ・食堂座席の名札の定期的な張替え
- ・嗜好調査の配布

**行事食 (R4)**

実施日	行事	メニュー
4/1	お花見	やきそば、いなりずし、からあげ、たまご焼き、ポテト、コールスロー、バナナ
4/28	誕生日 (4月)	ごはん、オニオンスープ、洋風きのこハンバーグ、ミモザサラダ、抹茶ババロア
5/5	こどもの日	オムライス、スープ、たまねぎとアスパラのサラダ、ぶどうゼリー
5/26	誕生日 (5月)	沖縄ねぎ塩豚丼、スープ、ベーコンとゴーヤのサラダ、美ら海もずく酢、黒糖ゼリー
6/30	誕生日 (6月)	かつカレー、わかめスープ、コーンサラダ、杏仁豆腐
7/7	七夕	七夕そうめん、野菜天ぷら、ピーナッツ和え、フルーツ
7/22	土用の丑	うな井、すまし汁、金平ごぼう、酢の物

7/28	誕生日（7月）	チキンライス、コーンスープ、エビフライ&ナゲット、マスカットゼリー
8/26	誕生日（8月）	あんかけチャーハン、中華スープ、エビチリ、春雨サラダ、杏仁豆腐
9/15	お祭りメニュー	やきそば、たこやき、フランクフルト、焼き鳥、から揚げポテト
9/29	誕生日（9月）	ロコモコ丼、スープ、海老マリネ二色サラダ コーヒーゼリー
10/27	誕生日（10月）	ちゃんぽん、しゅうまい、ミモザサラダ、マンゴープリン
11/24	誕生日（11月）	天井、すまし汁、炊き合わせ、梅おかか和え いちごゼリー
11/29	収穫祭メニュー	やきそば、芋煮汁
12/15	誕生日（12月）	ゆかりごはん、みそ汁、とんかつ、マカロニサラダ、 コーヒーゼリー
12/22	クリスマス	サンドイッチ、わかめスープ、照り焼きチキン、 コーンサラダ、いちごゼリー
12/31	大晦日	えび天そば、ミニおにぎり、南瓜含め煮
1/1	元旦	お雑煮、おせち
1/10	新年会	筍ごはん、すまし汁、天ぷら、炊き合わせ、ゼリー
1/26	誕生日（1月）	ツナピラフ、コーンスープ、コロケ&えびフライ 野菜サラダ、ピーチゼリー
2/3	節分	かき揚げうどん、巻き寿司、アスパラおかか和え、フルーツ
2/16	誕生日（2月）	ごはん、豚汁、チキンカツ、カレー風味ポテトサラダ コーヒーゼリー
3/3	ひなまつり	ちらし寿司、すまし汁、タラの粕漬け焼き 竹の子の土佐煮、フルーツカクテル
3/30	誕生日（3月）	ごはん、オニオンスープ、ハンバーグ、 シーザーサラダ、ゼリー

#### セレクトメニュー

実施日	メニュー	
4/25	A：みそラーメン B：しょうゆラーメン	しゅうまい、カレー風味ポテトサラダ
5/30	A：デミグラスハンバーグ B：おろしハンバーグ	ごはん、みそ汁、枝豆のポテトサラダ、 漬物
6/27	A：きつねうどん B：山かけうどん	大学芋、中華風冷奴

7/5	A：から揚げ（ねぎソース） B：から揚げ（おろしソース）	ごはん、みそ汁 カラフルマカロニサラダ、漬物
8/29	A：冷やし中華（ごま） B：冷やし中華（しょうゆ）	しゅうまい、さつまいもサラダ
9/26	A：豚肉の味噌漬け焼き B：豚肉の生姜焼き	ごはん、みそ汁、 ブロッコリーとコーンのサラダ、漬物
10/31	A：おろしハンバーグ B：デミグラスハンバーグ	ごはん、みそ汁、かぼちゃサラダ、フルーツ
11/28	A：クリームシチュー B：ビーフシチュー	パン、野菜サラダ、フルーツ
12/26	A：みそラーメン B：しょうゆラーメン	ぎょうざ、さつまいもサラダ
1/30	A：けんちんうどん B：けんちんそば	さつまいもサラダ、春菊の青しそ和え
2/27	A：魚フライ（タルタルソース） B：魚フライ（トマトソース）	ごはん、みそ汁、ひじきとツナのサラダ 漬物
3/27	A：カレーライス B：ハヤシライス	スープ、海藻サラダ、フルーツヨーグルト

## 衛生委員会

年間テーマを軸に、新型コロナウイルスの情勢も考慮しながら委員会を開催。テーマ内容について産業医から助言をいただき、職員会議の場を活用しながら情報共有を行う。

夏季・冬季に職員の体調を整えるものの用意。

10月には法人職員を対象としてストレスチェックを実施している。

施設内コロナ発症者により、委員開催の中止あり。

年間テーマ

月	テーマ	月	テーマ
4月	職場でのコミュニケーション	10月	救命医療のかかり方
5月	VDT 症候群予防肩こり腰痛予防解消運動	11月	感染予防対策の兼ね合いで延期
6月	アンダーコントロール	12月	過労死の主な死因心疾患
7月	スタミナが付く疲労回復を促す食事	1月	感染予防対策の兼ね合いで延期
8月	アルコールとの上手な付き合い方	2月	花粉症について
9月	衛生委員会について再確認しよう	3月	次年度の年間テーマ検討

### ・夏季

熱中症対策用のスポーツドリンク、塩飴用意。

健康診断結果で要再検査項目があった場合の再検査実施の啓発。

### ・冬季

感染症対策用のマスク、手指消毒液、のど飴用意。

健康診断結果で要再検査項目があった場合の再検査実施の啓発。

### ・ストレスチェック実施。

ストレスチェック回答への啓発。実施後の高ストレス判定者への産業医面談希望の有無の確認。

## 施設内余暇企画

令和4年度も新型コロナウイルスの影響で、毎年恒例となっていた盆踊り大会、あやめチャリフェスタを中止としています。全国で感染者が増えている状況が改善されず、地域の方々をご招待する2大イベントの実施は不可能と判断する形となりました。この2大イベントの中止に伴い、生活支援でコロナ禍でも楽しい施設生活を送ってほしいという思いで、今年度は「コロナ禍でのチャレンジ」をスローガンとして毎月お楽しみイベントを実施しました。今年度は「生活支援委員」と「イベント委員」を一つにまとめ、全職員が企画から参加の形で実施をしました。また、全職員参加型にすることにより、職員間のコミュニケーションの場となり、皆で楽しく「利用者支援」を盛り上げていくことを目的として取り組めたことはとても大きな前進となりました。また、余暇終了後には各グループで軽食を取りながらコミュニケーションをとる機会を作りました。あえて余暇委員会を設けず全職員が企画、準備から作りあげ工夫を凝らした余暇イベントはご利用者様にも大変好評でした。職員全員の頑張りを評し令和5年度4月のお花見で表彰式を行っています。次年度に向けても職員のモチベーションが上がるよう盛り上げていきたいと思っております。

5月	6月	7月	8月
こいのぼり余暇	梅雨に関する余暇 (てるてる坊主)	七夕余暇	花火余暇
9月	10月	11月	12月
灯籠余暇	ハロウィン余暇	縁日余暇	クリスマス余暇
1月	2月	3月	R5年4月
初詣余暇	節分・バレンタイン 余暇	ひな祭り余暇	お花見余暇

## 利用者自治会

令和4年度の自治会は基本毎月第二日曜日の面会日の後、15時～1時間程度実施しています(※日程の変更あり)。自治会については保護者会の職員に協力頂き実施しています。また、自治会の内容では新たな取り組みとして食事のマナーについてを加えています。利用者様に困っていることを聞く時間を毎回導入していますが、利用者個人を中傷する意見が増えてしまうことがありました。始まる前に「個人に対する意見ではなく、生活の中で困っていることを発言して下さい」と声掛けすることにより個人に対する中傷が軽減していったので、次年度も継続していきたくと考えています。令和5年度も第二日曜日の面会日の夕方(15時頃)の開催を予定しております。また、令和5年度後半から日帰り旅行が計画される予定であるため、利用者さんの行きたい場所、外出先で食べたい物などの聞き取りしたものを職員間で共有していきたくと考えております。

### 【活動実績】

4月13日	困っていること。食べたい物、行きたい場所の聞き取り
5月6日	自治会とは、あやめ寮のルールについての説明。
6月3日	熱中症・食中毒についての説明。正しい衣類選びの説明。
7月1日	七夕、願い事の短冊作成。掲示。
8月4日	正しい食事や歩行の姿勢、食事のマナーについて実演を踏まえ説明。
9月5日	困っていること。食べたい物、行きたい場所の聞き取り。
10月21日	インフルエンザ、コロナウイルスなどの感染症についての説明。
11月18日	不審者対応。実演を踏まえながら利用者さんに説明。
12月2日	一年の振り返り。
1月19日	新年の抱負作り。作成後談話室に掲示。
2月17日	困っていること。食べたい物、行きたい場所の聞き取り。
3月	未実施。

## あやめ協力会

### 【主な活動】

「第18回あやめ協力会総会」は新型コロナウイルス感染の影響が続き、昨年に引き続き書面での議決実施となった。コロナ禍での活動模索は非常に難しく、役員会のみの実施となる。

### 【活動実績】

- あやめ協力会総会 ・新型コロナウイルス流行により、書面にて実施。
- あやめ寮チャリフェスタの開催 ・新型コロナウイルス流行により中止。
- あやめ寮協力会会員様へ、オリジナルカレンダー作成・配布  
・令和元年度より、協力会会員になっていただいた方を中心に自慢の壁面アートが各ページに散りばめられたカレンダー配布実施。

### 【課題・補足】

- あやめ協力会総会 ・事前に会計及び会計監査との連携をより綿密に図る。
- あやめ協力会会員の募集 ・協力会員の特典の検討
- あやめ寮チャリフェスタ  
・新型コロナウイルス流行により、実施が難しい現状のため、代わりとなる活動などの提案・イベント委員会と協力し進める必要あり。

## 令和5年度 あやめ寮協力会収支報告書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

1. 前年度からの繰り越し	1,407,978 円
2. 今年度収入	231,000 円

### 【内訳】

① 一般会員 (2,000 円)	*28 口	=	56,000 円
② 事業所会員 (10,000 円)	*15 口	=	150,000 円
③ 団体会員 (5,000 円)	*5 口	=	25,000 円
3. 今年度支出			24,907 円

### 【内訳】

①書面総会費用(葉書)	6,300 円
②振込手数料	7,557 円
③協力会カレンダー	10,500 円
④残高証明書発行手数料	550 円
4. 次年度へ繰り越し	1,614,071 円

## 実習生・ボランティア

令和4年度 実習生・ボランティア係 事業報告

### ①事業報告

- 令和4年度年間受け入れ表に基づき、実習生の受け入れを実施しています。
- オリエンテーションに関しては、新型コロナウイルス感染予防として、手紙を各学校へ郵送し、書面にて事前にオリエンテーション内容を伝え、実習初日に口頭・zoomを使用し、そのオリエンテーションを実施しています。  
※オリエンテーション資料は今までのものに加え、感染予防に関する資料も配布。
- 感染予防対策として、「誓約書」の提出を依頼。実習開始2週間前からの検温記録・体調確認を実施しています。また、実習期間中は毎朝の検温実施に加え、こまめな手洗いうがい・手指消毒を促し、マスクの着用をお願いしています。
- 実習巡回に関しては、新型コロナウイルス感染予防として基本的に新棟2階で実施しています。また、電話対応など状況に合わせて実施。入室の際には、検温・手指消毒の実施を行っています。

### ②活動実績

- 令和4年度は、受け入れは以下の通りです。

埼玉保育教育学院・貞静学園短期大学・武蔵野短期大学・東京教育専門学校

聖徳大学・純真大学・帝京平成大学・東京未来大学・国際学院埼玉・越谷保育専門学校・立正大学・文教大学

計 12校の受け入れを実施しています。

実習生・ボランティア

- 令和4年度の受け入れ（オリエンテーション・実習生勤務表の作成・実習対応・評価）
- 令和5年度の受け入れ調整
- 責任実習を実施

《令和5年度受け入れ》

・オリエンテーションに関しては、新型コロナウイルス感染予防として、手紙を各学校へ郵送し、書面にて事前にオリエンテーション内容を伝え、実習初日に口頭・zoomを使用し、そのオリエンテーションを実施しています。

※オリエンテーション資料は今までのものに加え、感染予防に関する資料も配布。

・感染予防対策として、「誓約書」の提出を依頼。実習開始2週間前からの検温記録・体調確認を実施。また、実習期間中は毎朝の検温実施に加え、こまめな手洗いうがい・手指消毒を促し、マスクの着用を依頼。



**【活動実績】**

- 5月 埼玉保育教育学院 1名 貞静短期大学 2名  
8月 埼玉保育教育学院 1名 聖徳大学 2名 武蔵野短期大学 2名  
9月 東京教育専門学校 2名  
10月 東京未来大学 3名  
11月 立正大学 3名 介護等体験 1名  
12月 立正大学 3名 東京未来大学 2名  
2月 帝京平成大学 1名 文教大学 3名 埼玉純真大学 2名  
3月 国際学院埼玉 2名 越谷保育専門学校 2名 (途中中止)

**【介護等体験実習】**

※年間 12校 34名 延べ 301日間

**【介護等体験実習】**

新型コロナウイルス感染の状況の影響により当初の依頼人数3名ではあったが、結局辞退等を受け、受け入れ人数は1名。

### 短期・日中一時

- 年間を通じてコロナウイルス感染症の対策を徹底した上で受け入れを行っております。
- 昨年度中止していた日中一時の受け入れですが、今年度から再開しております。緊急の方も状況を検討しながら、可能な限り受け入れをしております。

### 活動実績

- 日中一時・短期入所利用者の受け入れ調整
- 利用希望者の相談・見学・契約対応
- 受け入れ利用者の課題解決・環境調整
- 他施設との連携・相談支援との連携

#### 令和4年度日中一時 利用状況 人数 収入 事業報告 ※枠下（）部分は去年度収入

上半期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	半期合計
利用人数	0	0	0	1	0	0	1
利用回数	0	0	0	2	0	0	2
利用者負担金	0	0	0	1,490	0	0	1,490
市町村負担額	0	0	0	4,800	0	0	4,800
下半期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	半期合計
利用人数	0	1	1	0	2	1	5
利用回数	0	1	1	0	8	7	17
利用者負担金	0	970	870	0	4,805	3,920	10,565
市町村負担額	0	4,700	3,200	0	14,285	11,200	33,385
年間						合計	¥50,240 (¥11,480)

#### 令和4年度短期入所 利用状況 人数 収入 事業報告 ※枠下（）部分は去年度収入

上半期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	半期合計
利用人数	1	2	1	2	1	1	8
利用回数	1	3	1	2	2	2	11
利用者負担金	1,000	16,430	4,430	14,830	18,590	13,040	68,320
市町村負担額	8,412	142,532	33,670	115,606	126,267	88,816	515,303
下半期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	半期合計
利用人数	4	0	2	3	4	3	16
利用回数	5	0	2	4	6	6	23
利用者負担金	23,590	0	12,460	10,940	16,092	17,720	80,802
市町村負担額	205,106	0	91,757	101,049	154,072	169,592	721,576
年間						合計	¥1,386,001 (¥429,863)

## 保護者会

### 事業内容

- 毎月の行事・イベントや誕生日会の写真を掲載したあやめだよりを作成。

月	人数	月	人数
4月10日	リモート面会 参加者 11 家族	10月9日	リモート面会 参加者 10 家族
5月15日	リモート面会 参加者 12 家族 保護者会総会は書面にて対応	11月13日	リモート面会 参加者 10 家族 チャリフェスタ中止
6月12日	リモート面会 参加者 13 家族	12月11日	対面&リモート面会 参加者 21 家族
7月10日	リモート面会 参加者 12 家族	1月8日	対面&リモート面会 参加者 17 家族 保護者会新年会中止
8月7日	リモート面会 参加者 12 家族 盆踊り大会中止	2月12日	リモート面会 参加者 12 家族 ※施設内新型コロナクラ スター発生の為リモート のみ実施。
9月25日	リモート面会 参加者 10 家族 モニタリング中止（書面にて）	3月13日	三者面談にて面会 参加者 15 家族 三者面談中止

- 毎月の面会日にて、保護者様への質疑応答・利用者様の近況報告を実施。
  - 新型コロナウイルス拡大防止の為、毎月の面会日ではリモート面会を実施。  
(令和4年12月から対面も始まる。) 2月クラスター発生のため、リモート面会のみ
  - 毎月、各担当職員へ各利用者様の近況報告書の作成依頼。発送物をまとめて送付。
  - 会報委員との連携
  - 面会日記録の作成
- ※新型コロナウイルス減少に伴い、あやめ寮へ来寮しての対面面会を再開。引き続き自宅からリモート面会または、電話での通話で対応も可能。

#### 【令和4年度面会日およびリモート面会・対面での面会参加家族数】

#### 【課題】

- 保護者様と職員の交流の機会の設定
- 帰省時のお願い事項に関するご理解、説明。
- ご家族高齢化に伴い、対面での面会が難しい方へのオンライン面会の普及方法の検討。

## 施設整備委員会

備品購入・利用者散髪計画実施・施設内・外の美化活動を実施いたしました。

施設外では、草木の害虫駆除・除草剤散布を実施いたしました。

施設内では、施設内の備品購入、施設全体の害虫駆除4回計画・実施しております。

毎月の利用者散髪を計画し、3名の理髪店へ依頼して月4回の散髪を実施しております。

### 【主な活動】

- 4月 除草剤散布
- 5月 本棟害虫駆除（昼食：吉野家※並盛牛丼）  
新棟害虫駆除  
ぐりーん棟害虫駆除（15匹発見）
- 5月 除草剤散布
- 6月 作業棟害虫駆除
- 7月 水回り本棟害虫駆除（昼食：じゃぱん亭：のり弁）
- 8月 共有スペース片付け
- 9月 水回り本棟害虫駆除（昼食：吉野家※並盛牛丼）
- 10月 共有スペース片付け
- 11月 共有スペース片付け
- 12月 本棟害虫駆除（昼食：吉野家※並盛牛丼）  
新棟害虫駆除 大掃除
- 2月 年度末調整業務
- 3月 年度末調整業務

### 【活動実績】

- 害虫駆除（本棟・新棟※煙2回、水回り2回）作業棟3か所・ぐりーん棟害虫駆除実施
- 利用者散髪の計画・実施
- 除草剤散布
- 施設内備品購入・管理
- 大掃除（施設大掃除・カーテン洗濯）

### 【課題・補足事項】

●備品については、引き続きコロナの影響で一部商品の高騰が目立っている。特にグローブと消毒液の値段が安定しておらず、購入個数も限られてしまっている。この2点に関しては、昨年度と続いて事務にて注文管理をさせていただいている。※値段が安定した時は、施設整備委員会管理に戻るが、それまでは事務にて管理となっている。

●備品注文先にて古川商店がR4年3月末で閉店をされたことで、紹介を受けた遠藤商店を令和4年度4月から注文開始となった。

●害虫駆除は業者へ委託しており、委員会としてお弁当の発注、当日のタイムスケジュールの作成等を行なっている。作業棟・新作業棟・ひらのは業者へは委託せず、各作業責任者にて行なってもらっている。

令和4年度 備品収支報告 ( ) は前年数値

月	金額	月	金額
4月	¥28,552 (72,363)	10月	¥76,175 (85,846)
5月	¥3,960 (39,767)	11月	¥54,736 (105,521)
6月	¥124,416 (36,658)	12月	¥86,266 (106,270)
7月	¥72,181 (91,667)	1月	¥189,696 (99,976)
8月	¥62,730 (117,145)	2月	¥62,869 (123,707)
9月	¥22,400 (25,550)	3月	¥25,265 (142,208)
上半期累計	¥314,239 (383,150)	下半期累計	¥494,834 (663,529)
年間累計		¥809,073 (1,046,679) (1,393,526)	

※一昨年度年間支出¥1,393,526→昨年度年間支出¥1,046,679→今年度¥809,073

昨年度比約 22.8%経費減 (一昨年度 42%経費減)

### 地域貢献PJT

あやめ笑顔食堂開催：4月・5月・7月・10月・11月・12月・2月・3月

○埼玉県青年会議所によるイベントに出店参加：6月

○幸手市子育て応援まつり展示参加：12月

○幸手市子育て支援ネットワーク定例会：毎月第4月曜日

○埼玉県子ども食堂ネットワーク埼玉北エリア連絡会：隔月による運営参加

地域貢献PJT委員会として、市内のこどもの居場所づくりの創生も狙いとしつつ、貧困家庭や孤食の子どもに対しての食事の提供を狙いとした子ども食堂『あやめ笑顔食堂』の運営をしております。開催に当たり、協力団体【食材の提供団体や企業との交流、他の子ども食堂との情報交換会】に参加し、それぞれの団体様の温かい思いに触れ、委員会としても良い影響を受けることが出来ました。

今年度もコロナ禍における取り組みとして毎月1回、安価（大人100円 子供50円）での弁当販売を行っております。その中で、嬉しそうに来店してくれる子供の笑顔を見ると益々良い物を提供したいと思うと共に更に子供達に喜んでもらえるサービスを考えていきたいと思いました。

今後の課題

- 弁当販売以外の取り組み。
- 申し込みから見えるニーズの洗い出しと今後の取り組みの模索。

## 車輛

〈活動内容〉

- 各車輛に車輛責任者を設置し、月に1回の車輛の点検・清掃の実施。
- 月に一回の運行簿のチェック、管理者による運行募チェック。
- 季節による車輛装備品のチェック
  - ※スタッドレスタイヤ、ノーマルタイヤの履き替え作業、インフルエンザ感染症予防の為の医療品
- 今年度よりタイヤ交換については、中村タイヤ様へ依頼。

[課題]

- 職員の中で、自転車通勤などが増えており、公用車の運転が難しい職員がいる。有事の際や通院などで車両運転は必要な事なので、今後運転練習など積極的に取り組む必要がある。
- 洗車や車内清掃に時間を確保し、綺麗な状態を保てるようにする。
- 公用車も使用年数が増え、ディーラーでの点検整備にも限界がある車両も出て来ている状況であるため早めに車輛購入に踏み切る必要がある。

## 魅力発信 PJT

### 【法人ブランディング部門】

より良い職場づくり・より良い事業所づくりの一環として、法人ブランディングに注力し、社会福祉法人平野の里の内容がより一層充実し、内外に平野の里の魅力を発信していく活動を推進している。

### 【主な実績・主な取り組み】

- ・ #介護の取組みコンテスト (Instagram) 準グランプリ受賞 (ケアコネクト様主催)
- ・ 埼玉県多様な働き方実践企業ゴールド⇒プラチナへのランクアップ
- ・ 埼玉県シニア活躍推進宣言企業⇒埼玉県シニア活躍推進宣言企業プラスにランクアップ
- ・ 「埼玉県SDGsパートナー」登録 (第8期)
- ・ 埼玉県男性育児休業等推進宣言企業
- ・ 幸手市PRとして幸手市シティープロモーション課のSNS等との連携
- ・ Instagram、Twitter・Facebook・ホームページによる情報発信
- ・ 「ひとつひとつ実現するふくしま」 (福島県応援隊) 法人登録



埼玉県  
ONE TEAM SAITAMA  
SDGsパートナー



埼玉県  
シニア活躍推進宣言プラス



### 【会報部門】

#### ●事業報告・活動実績

・7月・10月・2月の年3回、会報誌「あやめ」の発行、保護者・関係機関への郵送。

#### ●7月発行…会議実施月(4月・5月・6月※7月は広報紙郵送準備)

○7月発行分記事内容：お花見、上長からの挨拶、保護者会会長の挨拶、令和3年度決算報告、新任職員紹介、辞令式、新人研修、健康診断、鯉のぼり余暇・協力会・寄付金、頂き物、コロナ情勢による盆踊り大会・チャリフェス・こども食堂についてのお知らせ

#### ●10月発行…会議実施(8月・9月※10月は広報紙郵送準備)

○10月発行分記事内容：音楽界・制作活動、あやめ寮・グループホーム作業風景、夏に行った余暇、ワクチン接種、歯科検診、新職員研修、協力会・寄付金、頂き物

#### ●2月発行…会議実施(12月・1月※2月は広報紙郵送準備)

○2月発行分記事内容：会報誌100号記念、クリスマス会、年末年始の様子、理事長・施設長からの新年の挨拶、保護者会会長挨拶、内定式、ソーシャルワーク実践現場、協力会・寄付金、頂き物

### ホームページ

ホームページに関しては、これまでと同様に情報発信として「支援員ブログ」を中心にできる限り身近な情報を更新し、事業所の取り組みを紹介している。コロナ禍で保護者をはじめ、来寮者の出入りが制限される状況が依然続いている中で、ブログを中心とした閲覧数の伸びは好調であった。トータルでホームページ開設から年度末までの集計として133,297件の訪問者数となり、昨年度から大きく超えて未だ伸び続けている。また、Instagram・Twitter・Facebookと連動させ、できるだけ閲覧いただけるような取り組みを実践することで、モバイルビューが非常に増加傾向にある。ホームページへアクセスのあった媒体を分析すると、リクナビ・Instagram/Facebookが上位を占めている。以降に、アクセス数の数値を示すデータを添付しているが、昨年度よりもさらに増加傾向にあり、今後も親しみのもてる情報発信を心掛けていきたい。

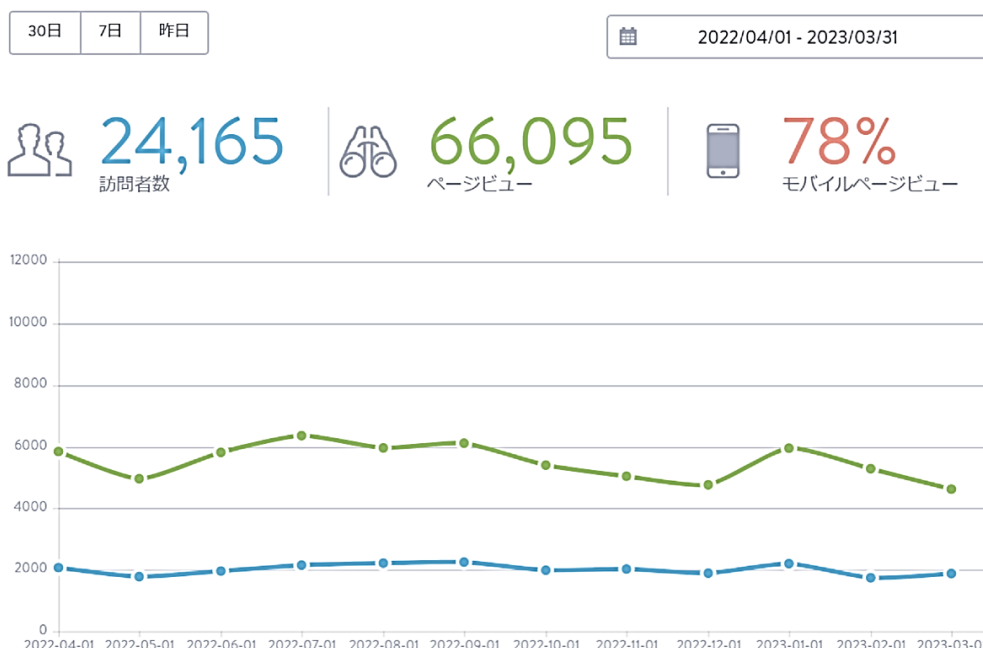
ホームページアクセスランキング（上位2件）

ページアクセス詳細

ホームページ内における内容	訪問者数	ページビュー
社会福祉法人 平野の里 障害者支援施設 あやめ寮/ あやめ日記（支援員ブログ）	8737	13741
あやめ日記（支援員ブログ）	7306	20430

令和4年度アクセス状況

訪問者数 24,165 (19,431) 前年比 124.3%  
 ページビュー 66,095 (61,476) 前年比 107.5%  
 モバイルビュー 78% (73%) 前年比 106.8%





## 職場研修

コロナ禍3年目、引き続き研修開催の難しい状況下で、外部研修はほぼオンライン化となり、引き続き、研修を軸にした職員育成に大きな障壁があった。しかし、オンライン化を追い風に、多くの職員が同じ学びを得られるチャンスということで、さらなる工夫と環境創出することに主眼を置いて、4名の新卒職員を仲間に迎え入れた令和4年度も「強度行動障害支援者養成研修」の受講を皮切りに学びを進め、県内の中小企業合同新任研修や若手社員研修など、異業種との研修機会にも積極的に乗り出した。

また、一昨年度から導入している「Special Learning」（リーオンミー様）知的障害者支援に特化したeラーニングシステムの推進を図った。特に、研修計画機能が拡充され、研修計画を適宜設定し、研修の促進を行えるようになり、より一層職場研修計画がスムーズとなった。併せて、令和4年度は「埼玉県虐待防止権利擁護研修」をオンラインで全職員に視聴する機会を作り、昨年度に続き、周知徹底を図っている。

例年行われている「職員研修旅行」ということで他法人の見学・研修会参加を兼ねて、職員の親睦を意図した研修旅行はコロナ禍により実施が難しく中止の継続となっているが、今年度後半に新たな取り組みとして「オンライン施設見学」と題し Special learning のリーオンミー様のご協力の下で、沖縄県と同ユーザー「社会福祉法人ハイジ福祉会」様とのコラボ研修が実現。これを職員研修旅行オンライン版と位置付け、新たな取り組み実績に繋がった。

オンライン研修化が一気に進み、オンライン研修の受講対象職員の幅も広がったが、やはり大きな利点としては「職員全員が同じ知識を得ることができる大きなチャンス」であるということが挙げられる。なかなか普段出張の難しい立場の職員も含め、動画やオンラインを通じて知識を得ることができるということは、共通言語化が図れるということで、支援の質をさらに向上させるチャンスに繋がると考えられる。安心安全の中で研修会が開催できるまでは、ハイブリッド型の推進としてオンラインを軸に、歩みを止めない研修機会を実践していきたいと考えている。

### 令和4年度 主な研修参加実績

研修名	時期	主催	参加者
新任職員研修①～⑥	4月	あやめ寮	新入職員
発障協評議員会&研修会（WEB）		埼玉県社協 発障協	大澤・杉村
Special Learning Summit	5月	リーオンミー	杉村・小松・佐伯
新任職員研修⑦ 幸手宿場町歩き		あやめ寮	新入職員
県内中小企業新入社員合同研修会		埼玉県	新入職員
新任職員⑧ プチパワーアップセミナー	6月	知的障害福祉士の会	新入職員・杉村
speciallearning 月間課題 令和4年度施設内虐待防止研修		あやめ寮	全職員
speciallearning 月間課題		あやめ寮	全職員

障がい福祉のためのマナー研修			
経営協定期総会・研修会		埼玉経営協	杉村
経営青年会第一回全体会研修会		埼玉経営協青年会	杉村
新任職員研修⑨	7月	あやめ寮	新任職員
県内中小企業若手社員合同研修会（大宮）			鈴木・青山・三浦
県内中小企業若手社員合同研修会（熊谷）			永井・石垣
社会福祉士実習指導者養成			井形・永井
発障協虐待防止新任研修		発障協	新入職員・小松
安全運転管理者講習会			小松
speciallearning 月間課題 障がい福祉のためのマナー研修		あやめ寮	全職員
speciallearning 月間課題 令和4年度虐待防止研修		あやめ寮	全職員
衛生管理者受験対策講座	8月		鈴木
強度行動障害支援者養成【基礎】		（福）天恵園	高梨・米原・井上・北條
新任職員⑩・若手・インターンコラボ	9月	あやめ寮	新任研修＋若手職員＋学生
県内中小企業指導者研修会		埼玉県 オンライン	幹部職員
埼玉葛 業務に活かせる相談支援	10月	埼玉葛自立協	井形・永井・中島・杉村・
2022年度実習指導者フォローアップ			浅川・井形・永井
まほろば地域巡回支援事業（利根圏域）			三浦・石垣・青山
新任職員⑪（研修＋事故ひやり参加）		あやめ寮	
speciallearning 月間課題 てんかん発作時の基礎を学ぶ施設内研修		あやめ寮	全職員
発障協虐待防止研修	11月		小松・
雇用管理セミナー			杉村
国際学院埼玉短大実習連絡会			井筒
安全衛生管理者試験			鈴木
新任職員⑫（eラーニング）		あやめ寮	新入職員
経営青年会 仲間づくりの場		経営青年会	杉村・小松・佐伯
寝たきり予防士2級講習会			本澤
関東甲信越ブロック研修（防災）			瀬谷
speciallearning 月間課題 てんかん発作時の基礎を学ぶ施設内研修		あやめ寮	全職員
GH虐待防止研修	12月	埼玉県	小松
インターンシップ・1day 仕事体験の 24年卒の振り返りと25年卒に向けて			杉村

発達障害福祉協会 青年部会		埼玉県発達障害福祉協会	桑原・佐伯
採用力アップのポイント		埼玉県	杉村
全国青年会総務・DX 推進委員会セミナー		全国経営協	杉村
新任職員⑬		あやめ寮	新入職員
R4年度相談支援スキルアップ研修	1月		瀬谷
自立協災害時支援プロジェクト研修		埼玉葛自立協	佐伯
部課長施設内研修		あやめ寮	幹部職員
サービス管理責任者更新研修		埼玉県	小松・桑原・浅川
協会施設長幹部職員研修オンライン	2月	埼玉県発達障害福祉協会	大澤・杉村・小松
社会福祉推進協議会オンライン		全国経営協	小松
オンライン施設訪問 沖縄×埼玉		リーオンミー	オンライン 3年目+幹部
発達障害福祉協会青年部会		埼玉県発達障害福祉協会	佐伯
発障協実践交流会		埼玉県発達障害福祉協会	青山
令和3年度埼玉県障害者虐待防止・権利擁護研修共通講義を動画視聴		埼玉県	全職員
発障協青年部会	3月	埼玉県発達障害福祉協会	佐伯
1年目職員×新入職員コラボ研修		あやめ寮	1年目+新入職員+青山
入職前スタート研修		あやめ寮	令和5年度入職職員
幸手市福祉避難所図上訓練		幸手市	佐伯
主な受講オンライン研修 Special Learning			

## 採用活動

昨年度に引き続き、平野の里として「リクナビ」を活用した新卒採用活動を継続的に取り組んでおり、リクナビシステムのなかで、「インターンシップ」「会社説明会」「体験実習」「面接」というプロセスを活用しながら、学生に対して職場の魅力や仕事内容を紹介している。リクナビだけではなく埼玉県労働局主催のイベント参加など、参加できるものには積極参加しつつ、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染の感染状況に翻弄されながら、オンラインとリアル「ハイブリッド型」にて対応した。

母数が少ない分、お一人お一人に対して、丁寧に向き合うスタンスで対応を進めていくスタンスとなったが、コロナ禍で例年お邪魔している「学校訪問」については、新入職員とともに里帰り訪問4校・内定者学校訪問4校と、以前の訪問まではいかないが、足掛かりとなる活動に取り組み、年度後半には、対面での県主催の企業と学校の交流会などのイベントにも参加し、学校訪問復活の兆しを作り、各校と連携強化を強める機会は設定できた。採用に関しては、多方面からのアクションがあり、県外住所地の学生が8割以上という特異な構成となったが、説明会から選考に進まれる学生の割合が非常に高く、10名もの学生が選考試験に臨まれるという、過去最高の数値も特異ともいえる年度であった。

3月から10月まで採用活動に取り組み、5名の職員が入職へと結びついた。

職員数は充足している中で、敢えて先に繋がる活動に切り替え、採用活動よりもインターンシップ・お仕事体験に注力し、昨年よりさらにハイブリッド型のインターンシップ・お仕事体験の準備を進めてきたが、本年度は複数日のリアル参加が圧倒的で、最大で10日のインターンシップ受入れ、また、日中+夜勤体験の3日間が主流となり、夏休み期間は毎週夜勤体験の学生がインターンシップに参加していた状況である。しかしながら、新型コロナの影響で冬休み期間は全く対応できず、数字としては低調に終わった。

そんな中でも変わらぬスタンスで対応し、インターンシップ・お仕事体験のリクナビ評価も一定数を上回り、数値化されている中、大きな自信に繋がる評価が得られた。

また、年度後半に採用に繋がった形は、これまでの学校訪問や実習受入れなどの繋がりがきっかけとなったことから、これまでの活動の積み重ねの大切さを実感した。

さらに、リクルート HELPMANJAPAN 主催の千葉県障害者福祉協会の人材確保定着に関する研修会では人事部長が事例発表で登壇するなど、これまでの蓄積を整理し、さらに前に向かう機会を得られ、さらに魅力溢れる事業所づくりへと繋げ、活気あふれる職場へと前進して行きたいと思うところである。

ハイブリッド型の対応にまだまだ課題もあるが、仕事の魅力を内外に伝え、しっかりとイノベーションを興していきたいと思う。

以降に示すデータは、会社説明会を実施した際に毎回協力いただいているアンケート結果を集計したものである。サンプル数も気づけばなかなかの数値となってきた。学生には説明会や職場体験を通じて、福祉現場の魅力を伝える良い機会となっていることはデータからも読み取れる。

※学校との連携から、昨年度に引き続き、十文字学園女子大学の「学内実習」という形でオンラインでの実習講義（1日間）を実施し、オンラインとリアルハイブリッドが定着した年度となった。

令和4年度主な実績（※介護等体験実習は参考数値）

	インターンシップ		採用会社 説明会	介護等体験実習
	リアル (延)	WEB		
男性	0	0	3	0
女性	6(23)	0	10	1
合計	6 延 23 (昨年 27)		13 (昨年 8)	1 (昨年 4)

・インターンシップ実績 2023-2024 前年比 参加者 22%・延べ日数 57%

【参加者の在籍大学】・高崎商科大学短期大学部 ・ルーテル学院大学

- ・国際基督教大学・高崎健康福祉大学・東北福祉大学 ・明治大学・埼玉県立大学
- ・東京大学・お茶の水女子大学大学院・岐阜聖徳学園大学・武蔵野大学・白鷗大学
- ・東洋大学・埼玉大学・東京未来大学・明治学院大学・明治大学・帝京平成大学
- ・共栄大学・神戸松蔭女子学院大学・高崎経済大学・十文字学園女子大学
- ・国際医療福祉大

2024 インターンシップ 累計 6名予約参加 ・ 延べ日数 23日  
(すべて対面・夜勤体験5名) (エントリー者26名)

2023 インターンシップ 累計 27名参加 ・ 延べ日数 40日  
(対面12名(延べ34日) WEB:14名)

2022 インターンシップ 累計 23名予約参加 ・ 延べ日数 36日  
(対面11名(延べ26日) WEB:15名)

2021 インターンシップ 累計 10名予約参加 ・ 延べ日数 16日

2020 インターンシップ 累計 16名予約参加 ・ 延べ日数 24日

2019 インターンシップ 累計 8名予約参加 ・ 延べ日数 8日

リクナビ2023-2024プレサイト インターンシップ・お仕事体験企業評価  
(社会福祉法人平野の里)

リクナビインターンシップ・お仕事体験評価 4.80

「4.80」という総合評価、人事とのやり取りが最高得点で5というので、本当にありがたい限りです。評価4.50以上の医療福祉で調べて頂くと、全国で20社あまりしかヒットせず、その中に私共が入っているという状況で、身の引き締まる思いです。

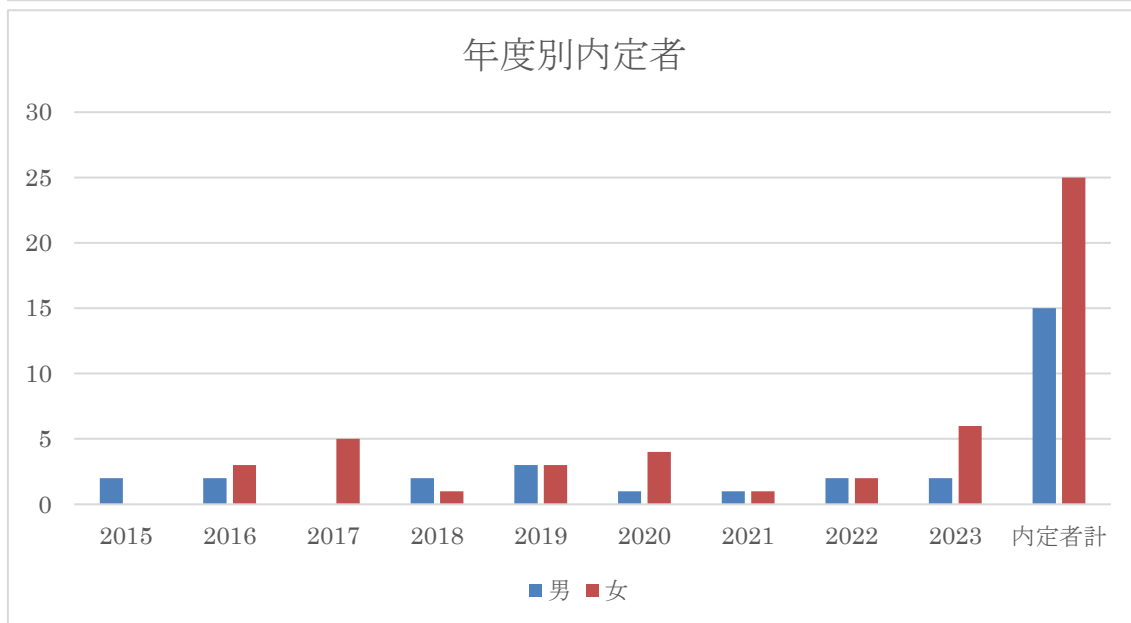
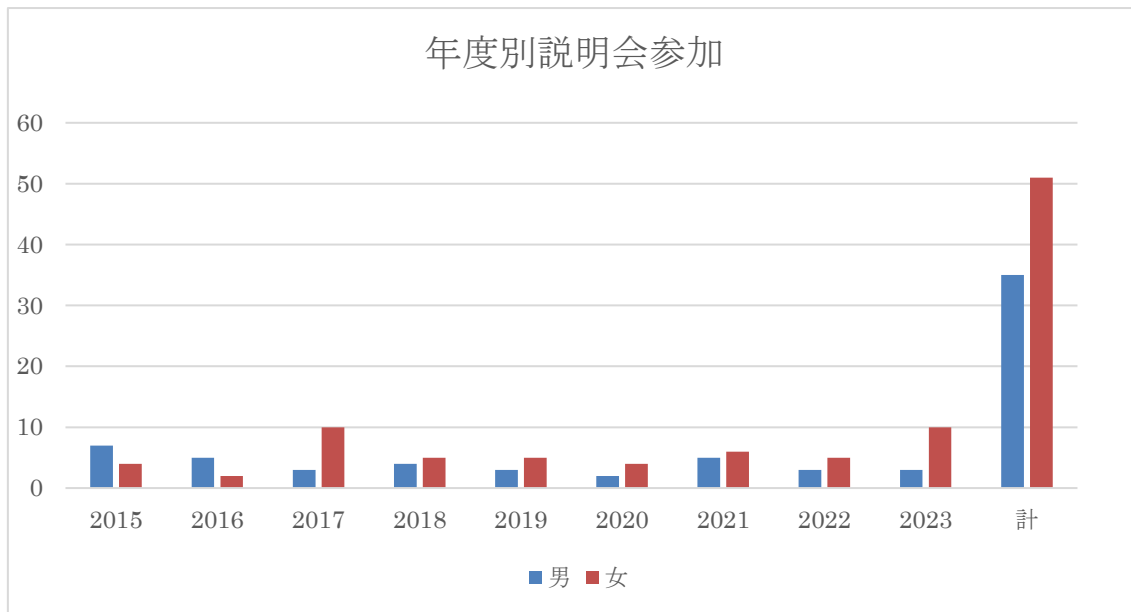
◆総合得点 (必須回答・各項目5点満点)

※学生の個人が特定されることが無いよう、10件以上回答があった場合のみ共有いたします。

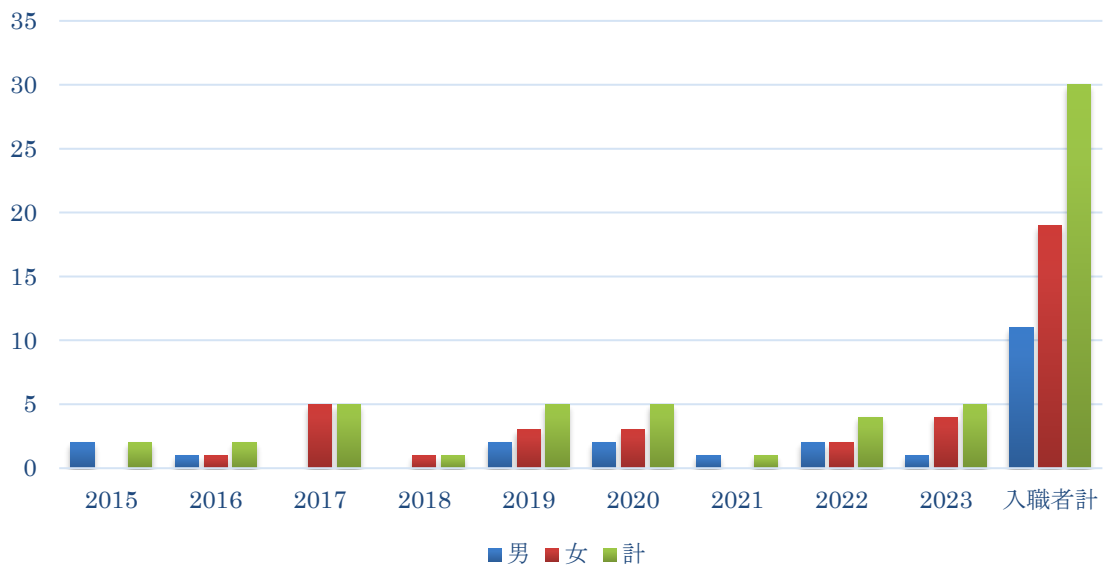
※直近の回答の得点の比重を高く集計しています。

項目	自社得点	全社平均
総合満足度	4.8	4.7
(A) 業界理解度	4.6	4.5
(B) 職場雰囲気理解	4.7	4.2
(C) 事業内容理解	4.7	4.5
(D) 仕事内容理解	4.5	4.4
(E) 自己理解	4.1	3.9
(F) 自己成長	3.5	3.8
(G) 社員からのアドバイス	4.7	4.4
(H) 人事とのやりとりのスムーズさ	5	4.5

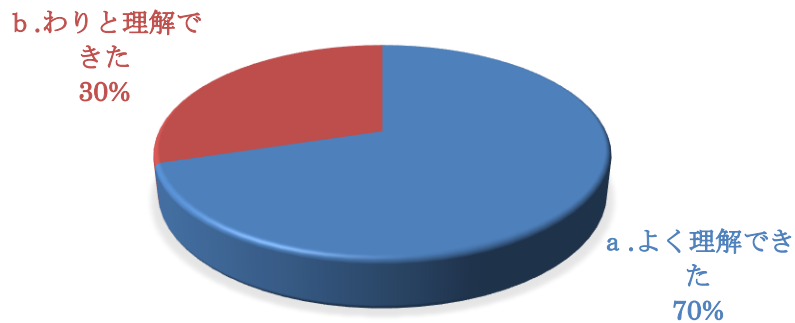
会社説明会実施後のアンケート結果（採用年度）



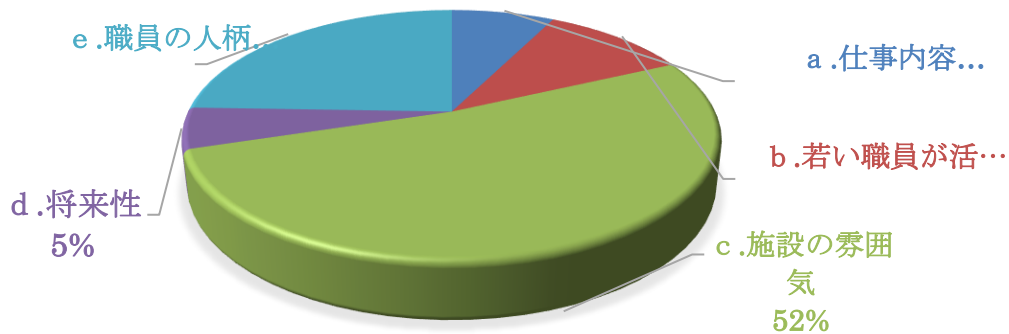
## 年度別入職者男女別推移



## 当法人についてどの程度ご理解 いただきましたか？

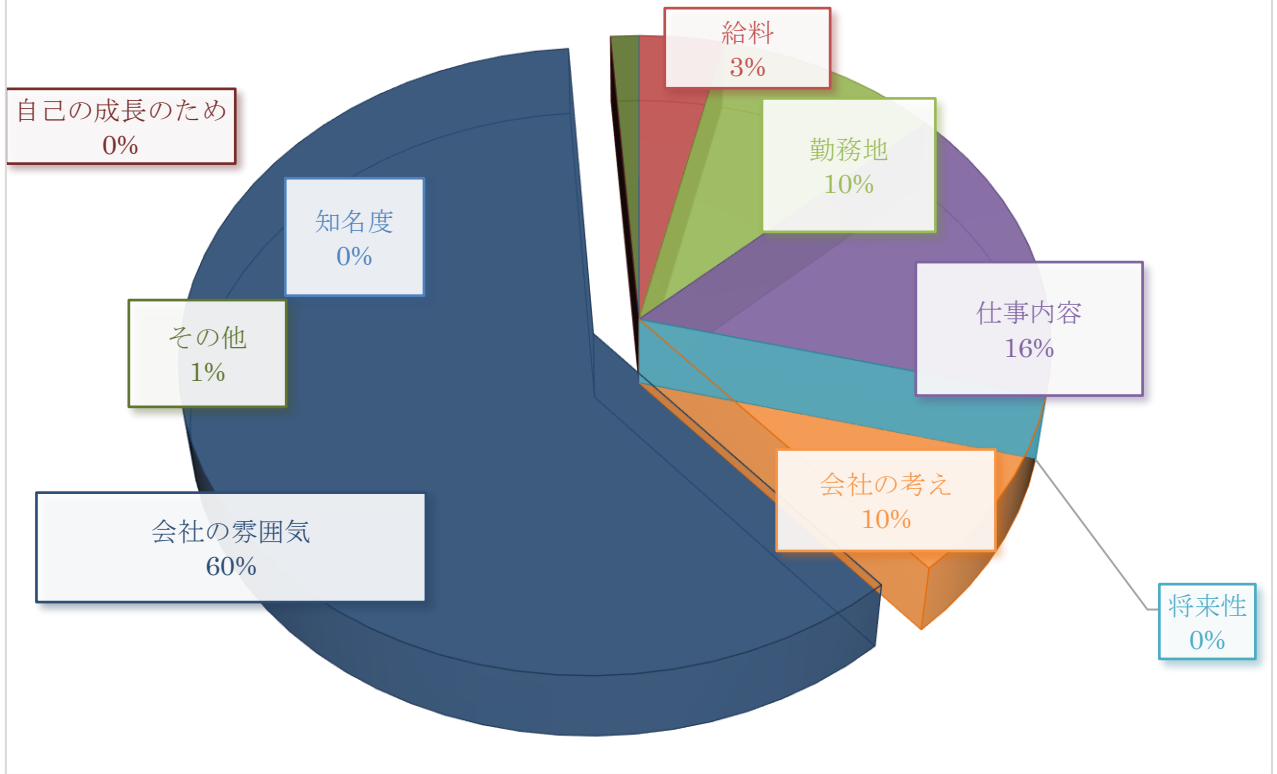


## 一番魅力を感じたのは何ですか？

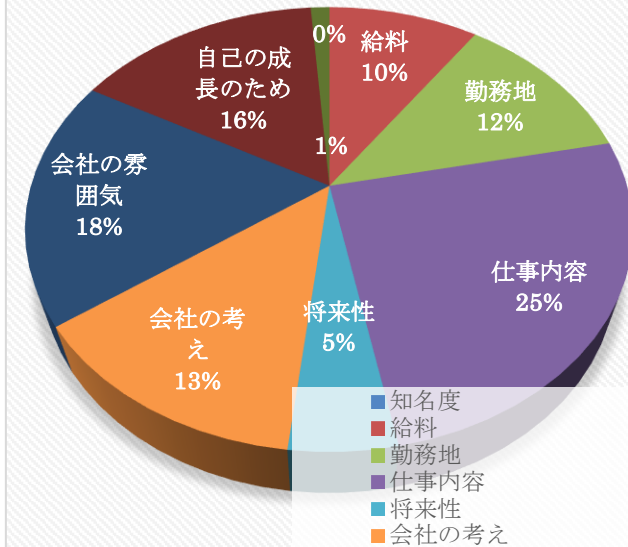




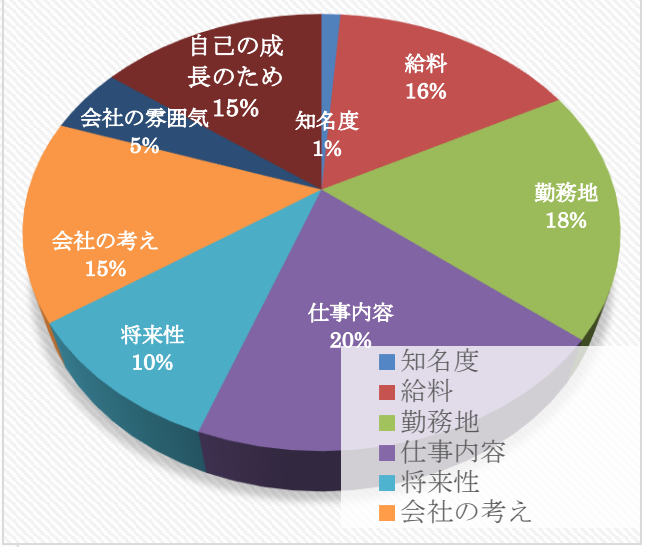
## 就職するにあたり、重要視する第1位



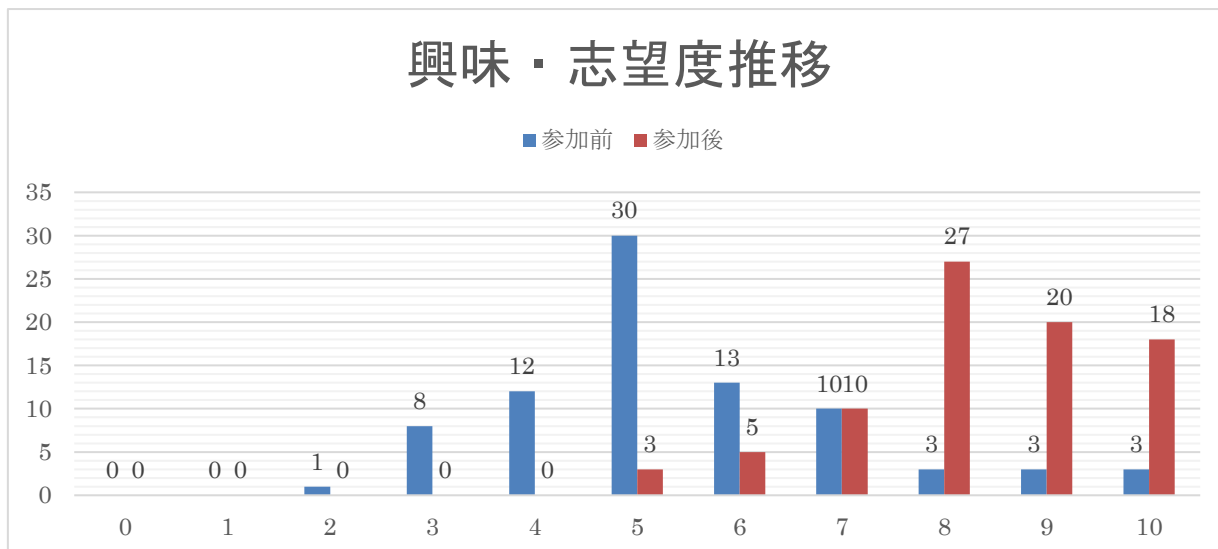
## 第2位



## 第3位



4. 法人説明会の参加前と後で当法人への興味（志望度）はどのように変わりましたか？



● イベント参加実績

相談会イベント				
2022年9月22日 埼玉純真短期大学「マッチングフェア」	記名	-	採用	0
2022年10月18日 埼玉県主催「企業と大学の交流会」	記名	-	採用	-
2022年11月5日 埼玉県主催「インターンシップ&仕事業界研究セミナー」	記名		採用	-
2022年12月13日 地域就職相談会 春日部会場	記名	2	採用	1
2023年3月6日 埼玉県主催「2023ジョブフェスさいたま」	記名	4	採用	0
2023年3月12日 リクナビ主催「WEBセミナー」	記名	148	採用	-